

児童・生徒の現状・課題

- ・与えられた課題に対しては着実に行うことができる。一方で、主体的に学習計画を立て、実行することに課題が見られる。
- ・与えられた学習方法の中から最適なものを選択したり、あるいは自身の特性や学習内容に応じて、主体的に学び方を選択したりについても、改善の余地がある。



学び続ける力を育むための重点目標

○児童が自ら学習計画を立て、多様な学習方法の中から最適なものを選択・構築する力を育み、生涯にわたって学び続ける自律的な学習者を育成する。



具体的な手だて①

- ・見通しをもって学習に取り組めるように、「学習の流れ」として、単元の導入や授業の導入では、学びのアウトラインを視覚的に示し、学習を進められるよう、ミニホワイトボードを使う。

具体的な手だて②

- ・1つの授業で様々な活動を入れる。読む、書く、聞く、話す、立つ、座る、歩く、クロムブックで調べる、絵をかく、文章で書くなど、児童も活動を選んで学習できるようにしていく。

具体的な手だて③

- ・活動の時間を十分に確保するために、教師は「わかりやすい指示や説明」に取り組む。また、活動時には教師は児童を見取るとともに、質問しやすいように「傾聴する声かけ」をしていく。



校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・学級通信や教科通信を Classroom で共有し、互いの実践からより良い実践につなげられるようにする。
- ・校内研究の部門会を中心に「環境部門」「授業部門」「教師部門」としても 2 週間に1度以上集まり、3つの側面から推進していく。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①(E1)自分から進んで計画をたてて、学習している。	85.0	87.0	
②(E8)取り組むかだいや調べ方、話し合う相手や発表方法など、学び方を自分で選び、学習をすすめることができる。	93.0	94.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①(A1)【学び続ける力】児童生徒が自分で計画を立てて学習をすすめる力を育むため、授業や家庭学習等において、手だてを講じたり、指導したりしている。	95.0	96.0	
②(A7)【選択する場面】授業では、学習課題や学習過程等、児童・生徒が学び方を選択する場面を設定している。	85.0	87.0	

総括(5月)

昨年度の課題であった、学び方の選択における教員と児童間の意識の乖離を解消すべく、今年度は「学習環境の整備」「授業づくり」「教師の関わり方」の3観点(環境・授業・教師部門)から授業改革を推進して継続している。全学年の研究授業や、町田市特別支援教育ハンドブックが掲げる UD(ユニバーサルデザイン)の視点に基づく授業改善を重ね、自分から進んで計画を立てる割合(85.0%)や、学び方を自分で選んで進める割合(93.0%)など、さらに自律的な学習者の育成に向けて進めていく。今後は、この成果を一部の単元に留めず日常の授業へと広げたり定着させたりし、児童がより主体的に見通しをもって学びを進められるよう、全教員でさらに授業力を高めていく。

総括(1月)